



金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和3年 7月9日

No.10

児童数 75名

校長 宍戸 与一

『夏の読書』

今一度、読書の大切さを考えてみませんか？

「読書は大切です。本をたくさん読みましょう。」よく耳にしてきたフレーズです。保護者の皆さまも読書の大切さについて理解され、子どもに「もっと本を読んでもらいたい」と思っていることでしょう。令和2年度の本校学校教育活動アンケートでは、「子どもは、すすんで読書をしている」の質問に対して、肯定的な回答は約60%でした。

何年も前から子どもの活字慣れや国語力の低下、対話による問題解決能力の低下などが指摘されています。読書活動はこれらの能力を高めるだけでなく、豊かな心と確かな学力を育むための大切な取組として重要性を増しています。読書活動は子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものだと思います。

今の時代、ゲームやスマートフォンなど、読書以外に子どもたちを魅了する物がたくさんあります。これらをすべて否定はできません。だからこそ、使用方法をご家庭できちんと確認しながら「ゲームもいいけど読書も楽しいよ」と上手に共存できる方法を探ってみてはいかがでしょうか。

ぜひご家庭でも継続して読書を楽しませてください。日頃から本を身近に置き、時間を見つけて読書する習慣を身に付けてほしいと願っています。



【子どもたちに読書の魅力を伝えるために】

- ◇ 家族が本に親しんでいる姿を見せる。
- ◇ 保護者の方が小学生の時に読んでいた本を紹介する。
- ◇ 同じ本を一緒に読んで感想を伝え合う。
- ◇ 曜日や時間を決めて、家族そろって読書をする時間を作る。など

(学校だより No.6 より)



忙しい毎日の中で、ちょっとした時間をつくり、今年の夏休みは、家族で『夏の読書』を楽しんでみませんか？